

そろいの赤と白のTシャツでPR動画の撮影に臨む学生
 = 2日午後、浜松市中区の静岡文化芸術大



静岡文化芸術大 機運盛り上げ

「ラグビーを知らない人に興味を持ってもらうこと」をテーマにしたPR動画は、同大非常勤講師の神谷尚世さんによるプレゼンテーション技法を学ぶ授業で学生から出たアイデア。受講した文化政策学部2年生の有志6人が、ラグビーの魅力を発信する「ラ☆カール」としてストーリーなどを考え、形にした。出演者は「ラグビーカーラーを意識した」という赤と白のボーダーのTシャツを着て撮影に臨んだ。ラグビーになじみのない学生に試

魅力発信へPR動画



2019年ラグビーワールドカップ(W杯)の機運を盛り上げようと、静岡文化芸術大の学生が2日、PR動画を浜松市中区の同校で撮影した。1分ほどにまとめ、11月3日にエコパスタジアム(袋井市)で開催される日本とニュージーランドのテストマッチ(東京・味の素スタジアム)のパブリックビューイングなど、公式イベントで放映していく予定。

合の動画を見てもいい、その前後のインタビューの様子を収めた。「危険で怖い」「ルールが分かりにくい」といったラグビーのイメージが変わっていく様子を伝える。

平桃香さん(19)は「前はラグビーに興味」に触れて面白さに気付いた。動画で多くの人に同じ変化を感じてほしい」と話した。動画の制作は県の事業の一環。神谷さんが代表理事を務めるNPO法人コラボりん湖西が委託を受けて実施した。(浜松総局・鈴木侑季)